
今、IT部門に求められる役割と 実践の為の方法論

～PIMSを用いた社内業務連携システムの構築～

(PIMS: Process Innovation Management System)

矢崎総業(株)
IT企画室 芹沢俊也

アジェンダ

会社概要

はじめに

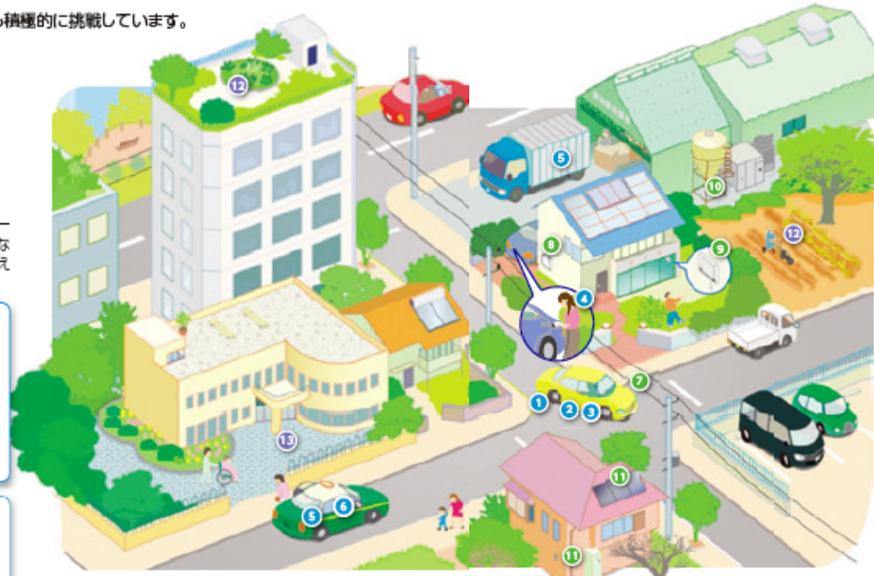
IT部門の位置付けと求められる役割

実践の為の方法論

主な事業分野

安全・環境に配慮した暮らしを支える事業を手がけています。

矢崎グループは、社是「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」に基づいて、ワイヤーハーネスに代表される自動車機器や、電線、ガス関連機器、空調機器、太陽熱利用機器などの生活環境機器の製品・サービスを提供してきました。さらには、介護、リサイクルなどの新規事業にも積極的に挑戦しています。



クルマをつなぐ
クルマの神経や血管とも言われるワイヤーハーネス(自動車用給電線)やメーターなどを中心に、カー・エレクトロニクスを支える多種多様な製品を提供しています。

ワイヤーハーネス
電線などをコンパクトに束ね、クルマの電気・電子機器に電源供給・信号伝達を行います。

1 ワイヤーハーネス 2 電子部品

メーター
表示の見やすさ、わかりやすさはもちろんのこと、高いデザイン性を実現し、ドライバーに安心・安全を提供し、走る楽しさを演出します。

3 メーター

充電コネクタ
EVやPHEVの充電に欠かせないコネクタは、高い信頼性が評価されています。

4 充電コネクタ

計装機器
セーフティ&エコドライブを支援する装置の専門メーカーとして事故防止と燃費改善に貢献しています。

5 デジタルタコグラフV [DTG4] 6 プリンター一体型 タクシーメーター [LT25P]

社会をつなぐ
環境負荷の低減や地域社会への貢献など、社会から必要とされる事業に積極的にチャレンジしています。

環境・リサイクル/農業事業
廃ガラスから軽質土木資材を製造するなど、さまざまなリサイクル事業を進めています。また、播種機やゲル被覆種子などを通じて農業の効率化を図ります。

12 廃ガラスを原料とした「スーパーソル」

くらしをつなぐ
ガスや電気、太陽熱など、私たちの生活の基盤となるエネルギーの有効利用を支える機器や環境に配慮した空調機器の提供を通じて、豊かな暮らしを実現します。

電線
ノンハロ対応、鉛フリー化電線をはじめ、近年ではエコリーフ環境ラベルの取得など、環境配慮型の電線を業界に先がけて実現しました。

7

ガス関連機器
ガスメーターをはじめ、住宅用火災警報器など、お客様の安心・安全を実現する各種ガス機器を提供しています。

8 LPガス用超音波ガスメーター [U-Smart] 9 新形式住宅用火災警報器 [煙チャッチャー]

空調機器
太陽熱や貯熱など、熱源を捕まえない吸収冷凍水機は地球環境に配慮した空調システムです。

10 水素ペレット吸収式冷凍水機 [バイオアエース]

太陽熱利用機器
約40年に及び太陽熱利用技術の蓄積を活かし、お客様のニーズに応える製品をラインアップ。

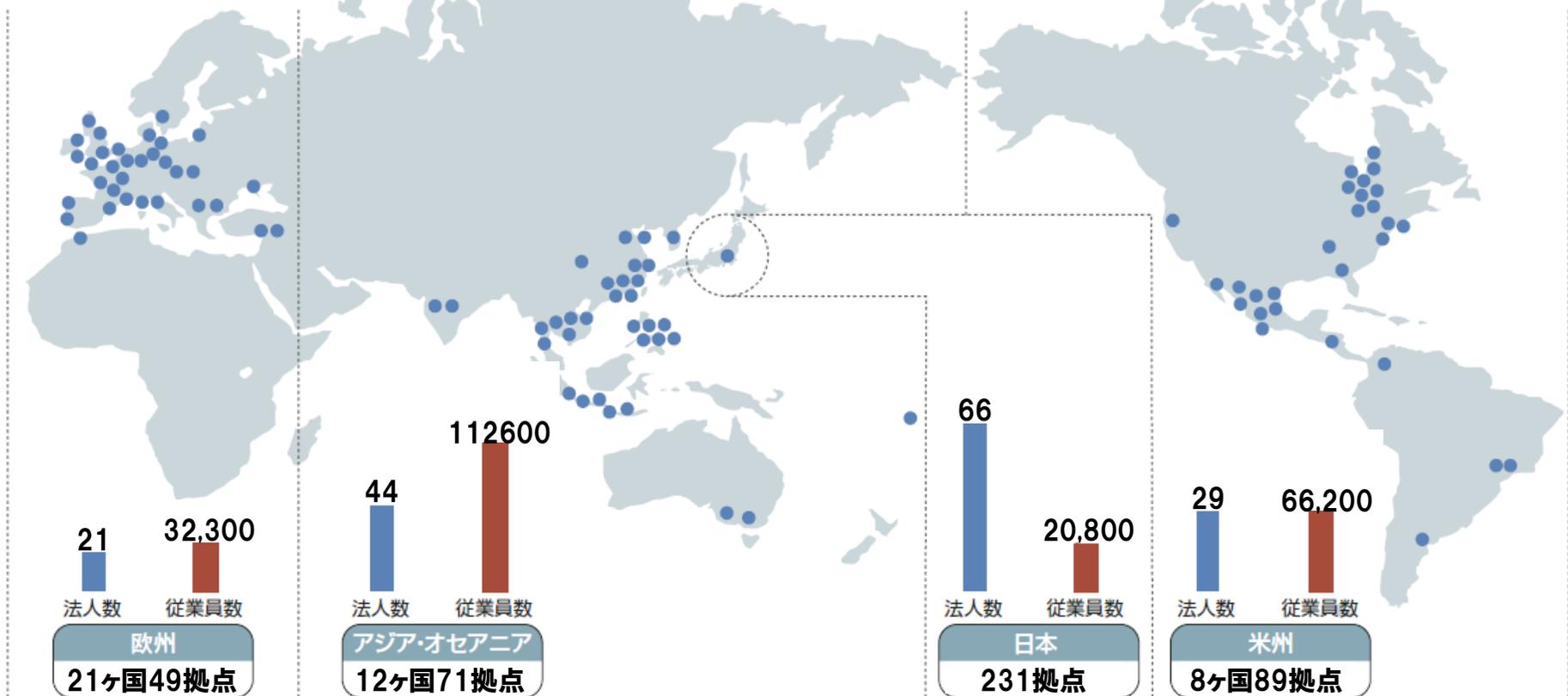
11 全自動給湯器 蓄熱型ソーラーシステム [エコソーラータイプ]

介護事業
地域に根ざした介護事業を全国9ヶ所で運営しています。

13 介護施設「あさひ」(Y-CITY)

法人数と従業員数(2012年12月20現在)

●矢崎グループの経営規模



会社概要と売上高推移

2012年12月20日現在

社名 矢崎総業株式会社
創立 1941年10月8日
代表者 代表取締役会長 矢崎 裕彦
 代表取締役社長 矢崎 信二
所在地 本社
 東京都港区三田1-4-28
 三田国際ビル17F 〒108-8333
 ワールドヘッドクォーターズ(Y-CITY)
 静岡県裾野市御宿1500 〒410-1194

資本金 31億9,150万円 (矢崎総業(株)は非上場企業です)
国内グループ会社

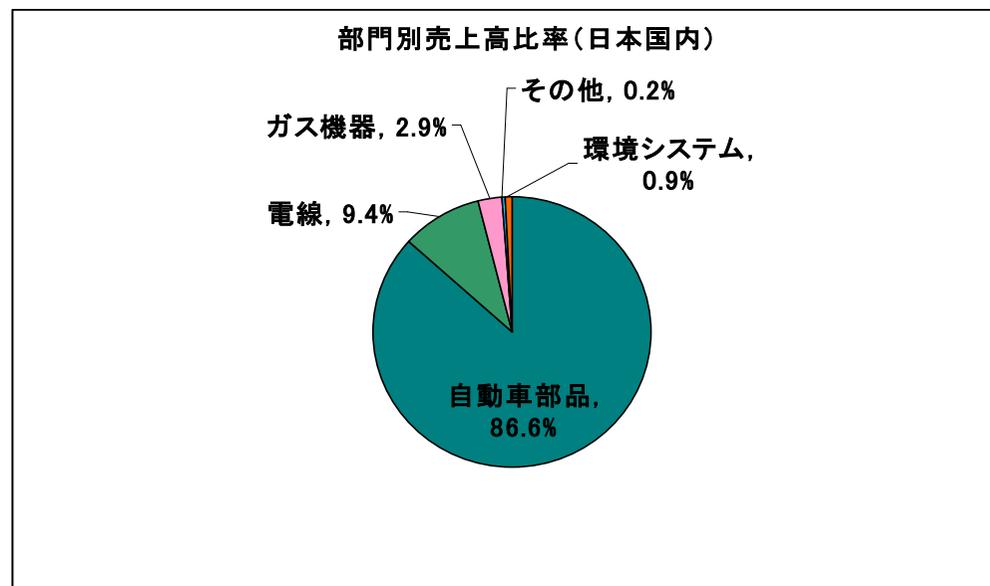
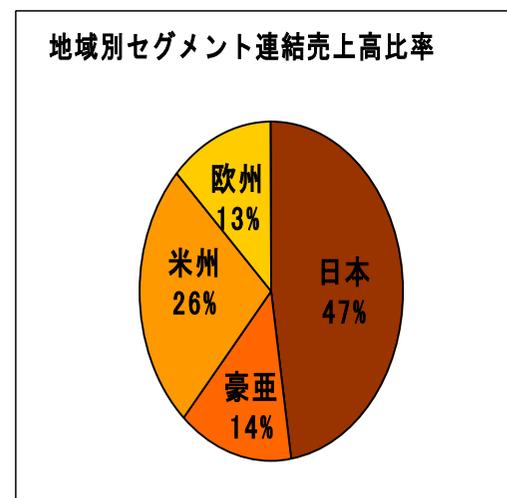
矢崎計器株式会社(1950年創立)
 矢崎部品株式会社(1959年創立)
 矢崎エナジーシステム株式会社
 (2012年創立)

法人 グループ法人 計160法人
 国内グループ 4法人
 海外グループ 94法人
 国内子会社・関連会社 61法人

従業員 特定公益増進法人 1法人
 従業員計 231,900名
 国内従業員 20,800名 ※1
 海外従業員 211,100名

※1国内子会社・関連会社を含む。

2012年06月20日現在



アジェンダ

会社概要

はじめに

IT部門の位置付けと求められる役割

実践の為の方法論

はじめに

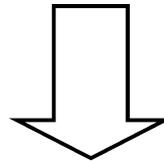
企業方針

- ・社是
- ・経営基本方針
- ・行動規範

我々を取り巻く環境

- ・人口の増加
- ・環境破壊
- ・法令や指令の制定
- ・顧客ニーズの多様化
- ・競合他社の進化

業務改革・改善を、常に繰り返すことが重要



IT部門は、「ITシステムの開発・保守」から「業務改革・改善」を積極的に推進する部門へ

アジェンダ

会社概要

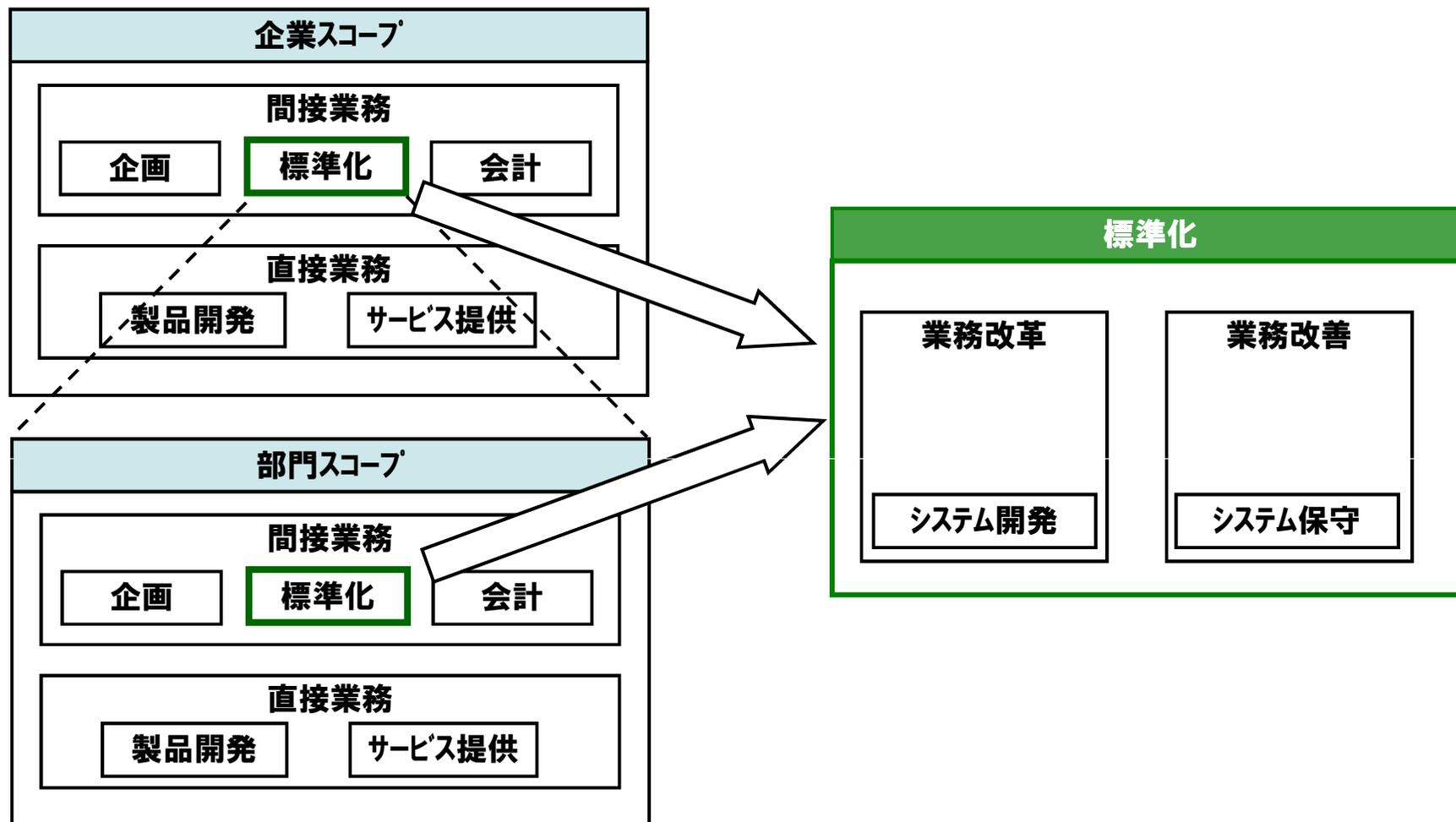
はじめに

IT部門の位置付けと求められる役割

実践の為の方法論

IT部門の位置づけと求められる役割

IT部門の位置づけ



IT部門の位置づけは「標準化」に在る。

IT部門の位置づけと求められる役割

IT部門の位置づけ

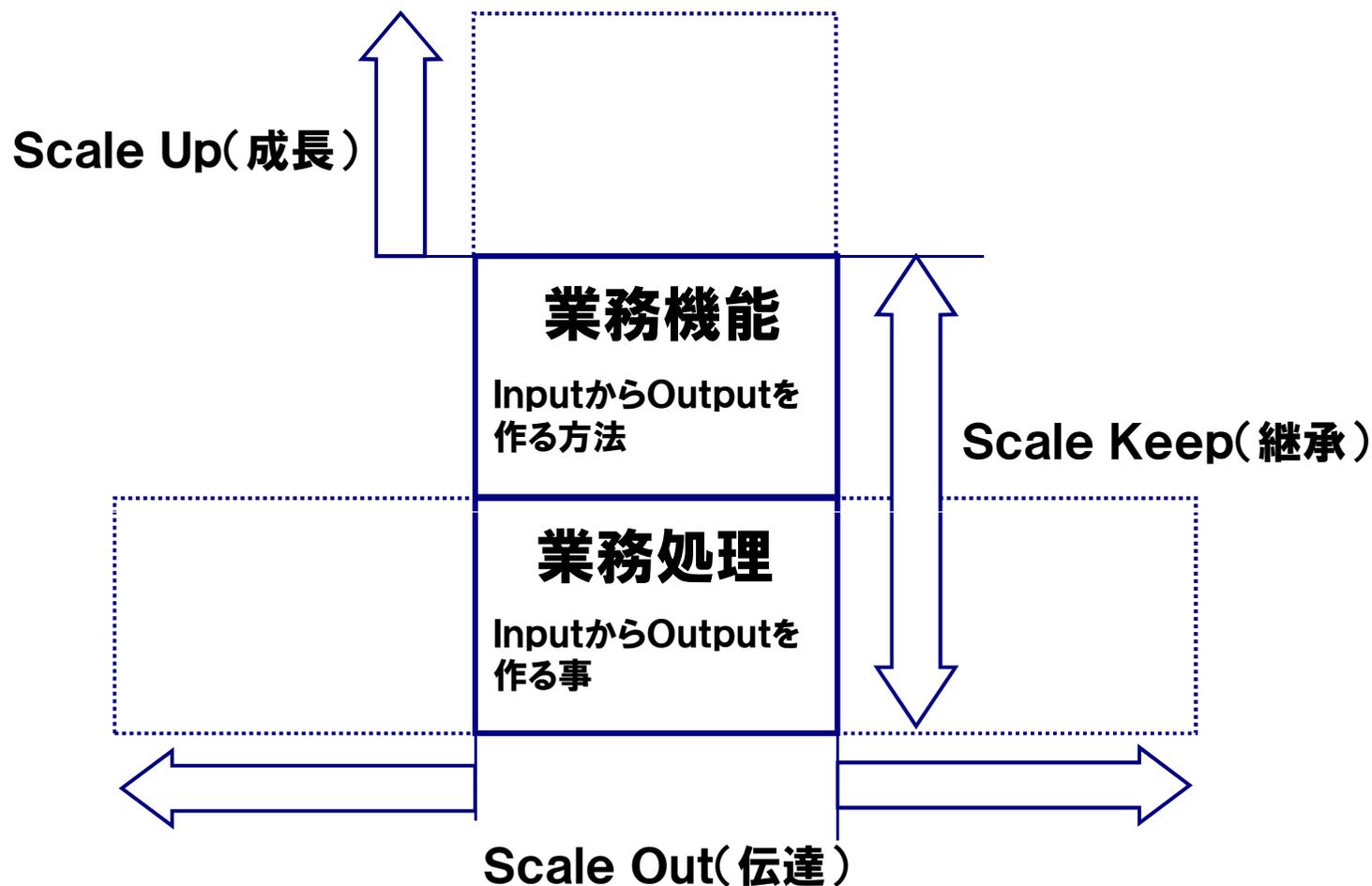


今、IT部門に求められる役割は、

- ①IT視点から見た「業務改革・改善」の為の方法論を定め、
- ②それを利用し、「業務改革・改善」を積極的に推進することである。

IT部門の位置づけと求められる役割

業務の標準化とは



業務の標準化とは、
業務機能を再利用可能な状態に保ちつつ、業務改善、改革を実施すること。
具体的には、業務機能の見える化(モデル化)、進化(抽象化)と業務処理の自動化、Outputの電子情報化である。
これらの活動化は、事業の継承(Scale Keep)、伝達(Scale Out)、成長(Scale Up)に大きく期待される。

アジェンダ

会社概要

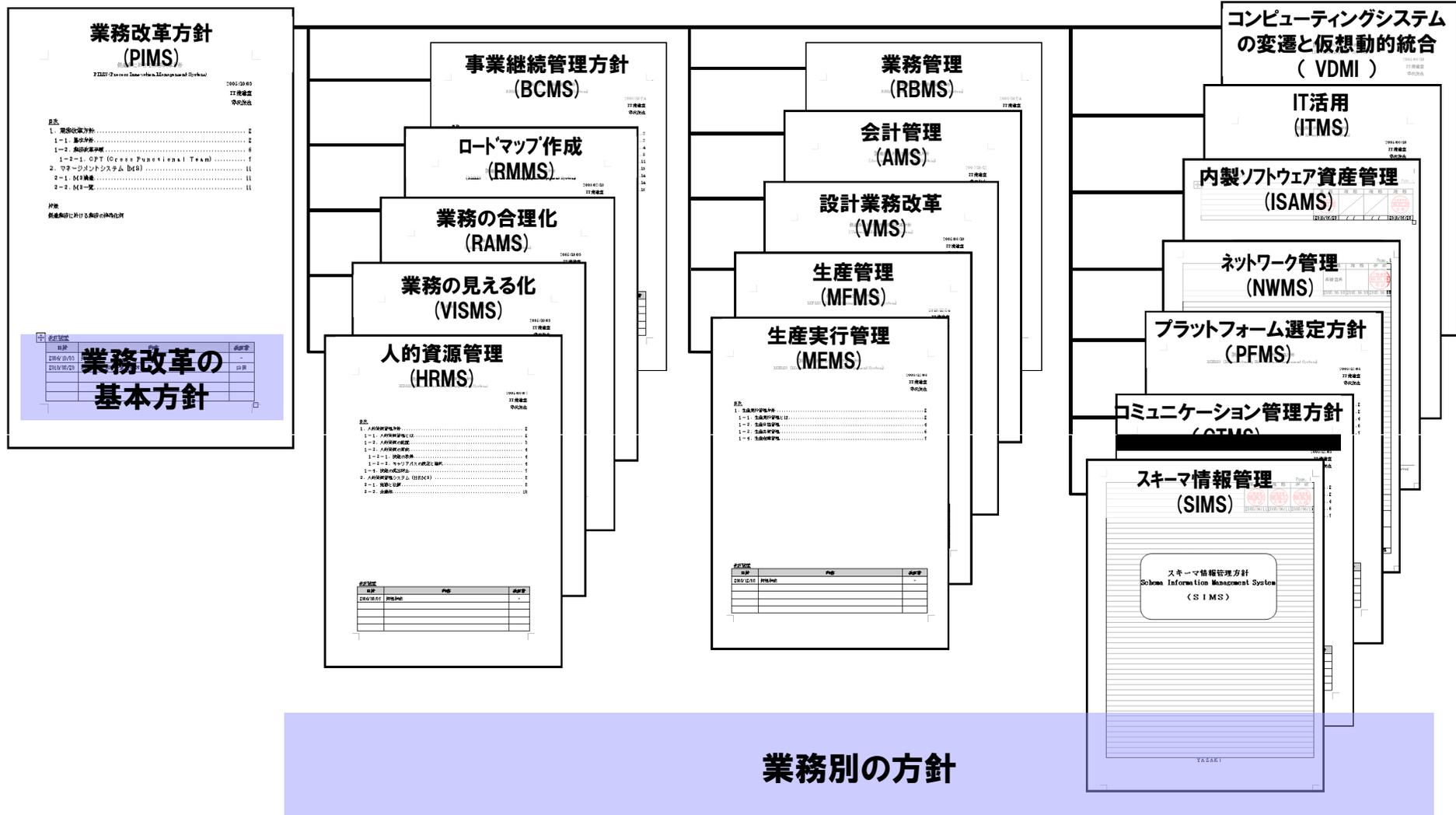
はじめに

IT部門の位置付けと求められる役割

実践の為の方法論

実践の為の方法論

PIMS - 体系

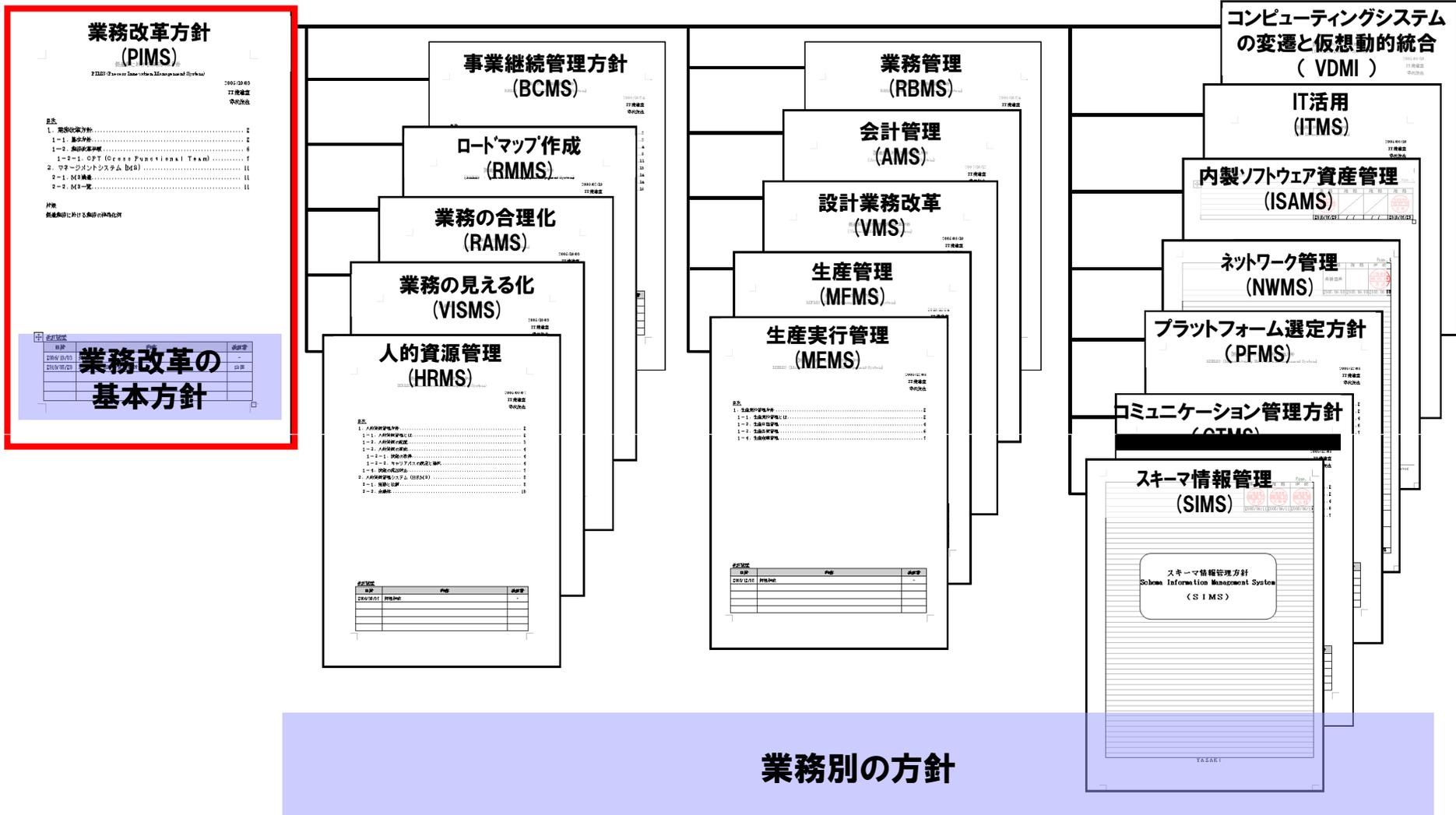


PIMS : Process Innovation Management System

業務改革・改善の方法論を「業務改革方針 (PIMS)」として定めた

実践の為の方法論

PIMS - 体系



PIMS : Process Innovation Management System

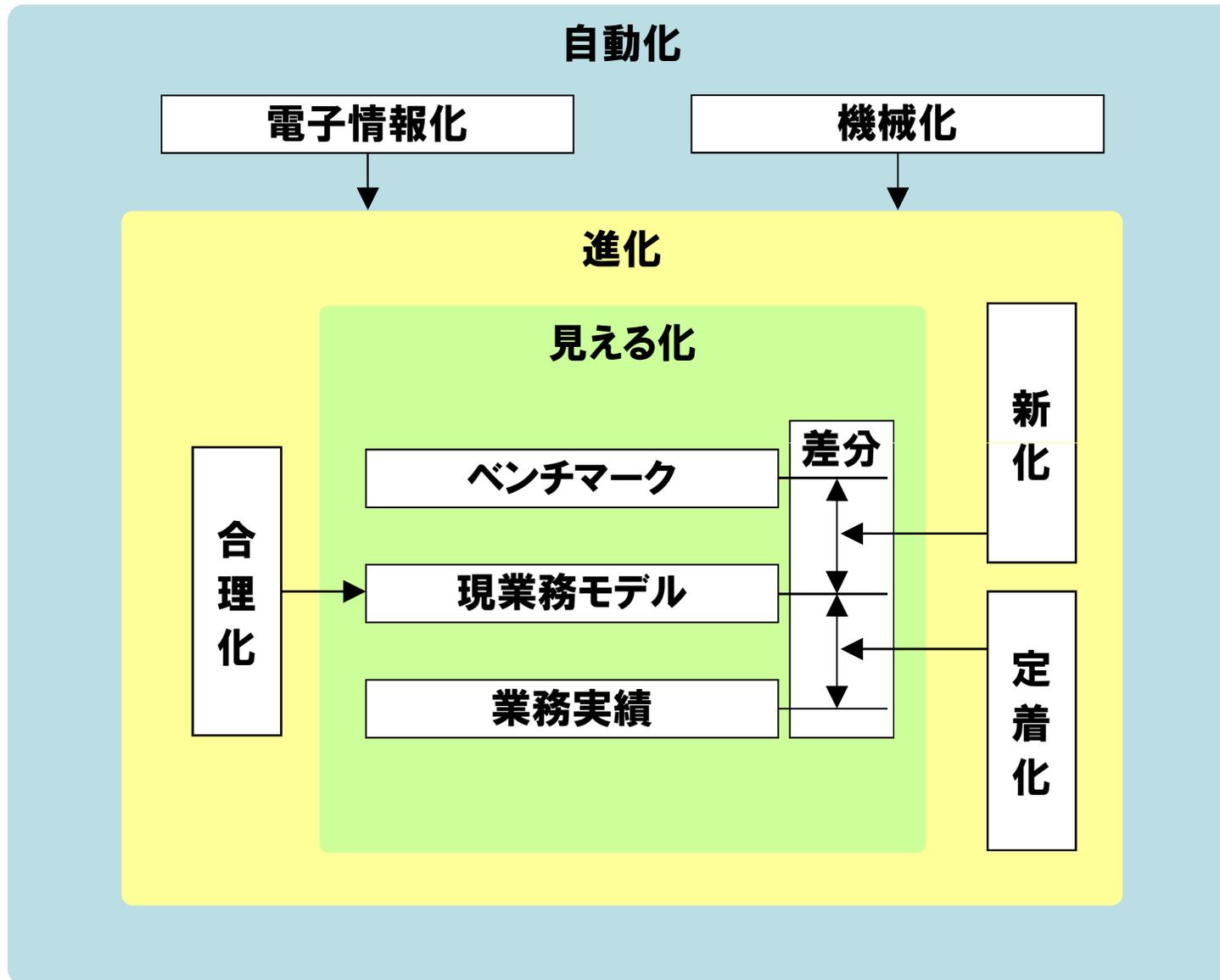
実践の為の方法論

PIMS - 基本方針



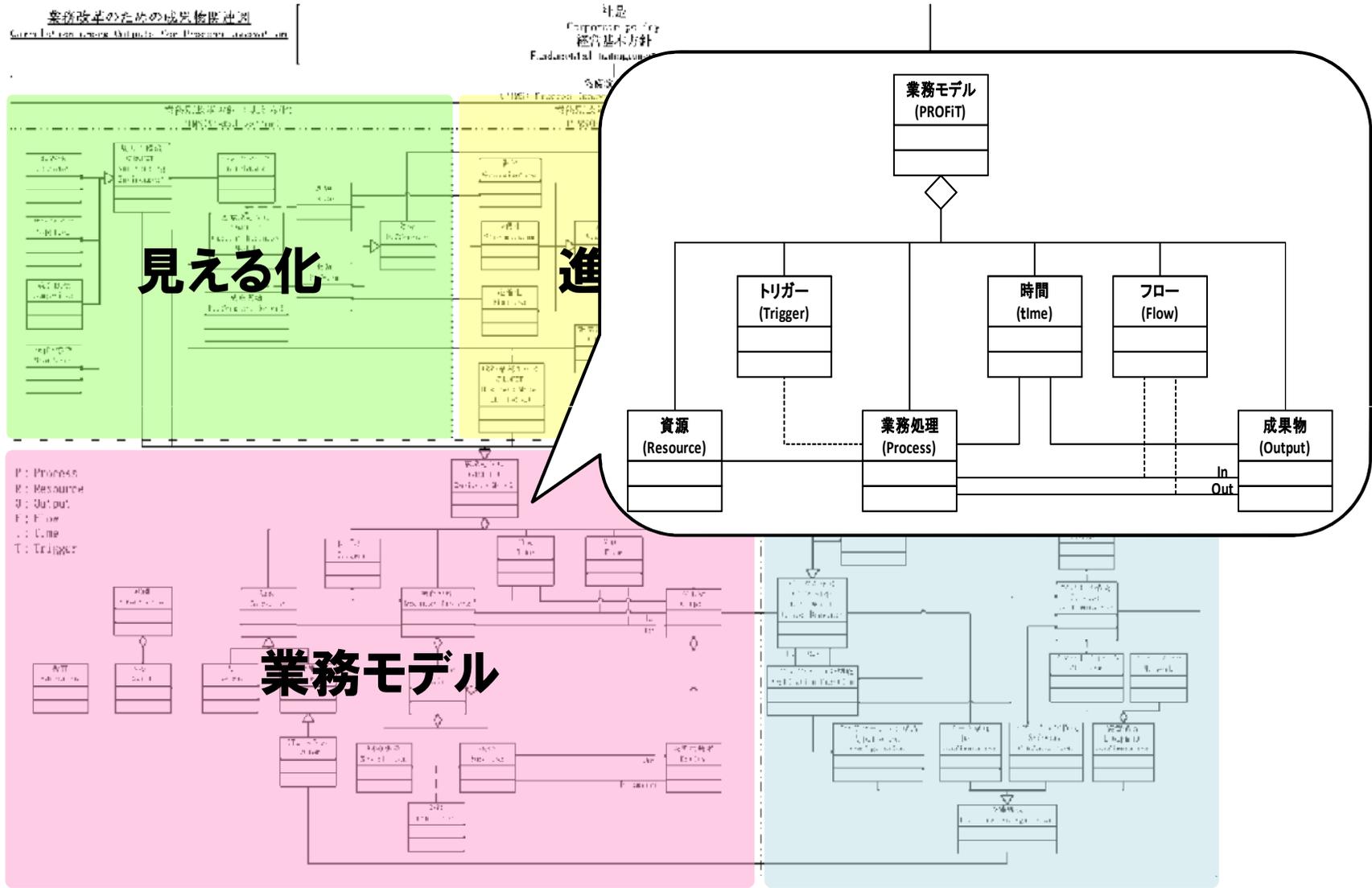
実践の為の方法論

PIMS - 業務改革の基本要素



実践の為の方法論

PIMS - 業務改革モデル



PIMS2に向けて

PIMS2に向けて

- 一年の長さは、一年間に体験した新たな刺激の数に比例する。
- 人生の長さもまた同じ。
- 新たな刺激を体験するために目標を立てよう。
- 目標が見つからなければひたすら話せ、歩け、それが最も効果的。
- そして、悔いの無い人生を歩もう。

御清聴ありがとうございました。

THINK

**考える事により全ては解決する
考える力は考えることにより増幅される
考えよう、そして豊になろう！**